

## 運動分野を支える基盤強化：

持続可能な連合運動の推進に向けて、組織・財政など運動基盤の整備・強化の課題解決に継続して取り組むとともに、組織内のコミュニケーションの充実をはかる。

### 1. 持続可能な財政の確立に向けた取り組み

- (1) すべての構成組織・地方連合会の納得のもとで新たな連合会費制度に移行できるように、丁寧な合意形成をはかるとともに、組織討議期間、導入準備期間を通じて残された課題の解決に向けた相互の対話を重ね、連携・協力する。
- (2) 効率的・効果的な財政運営に努めることはもとより、会計不祥事の再発を防止するため、連合本部・地方連合会・地域協議会の会計管理体制（内部統制）強化や透明性向上に継続的に取り組む。
- (3) 政策活動資金の取り組みは当面継続することとし、毎年の扱いは企画委員会を中心に議論する。
- (4) 連合本部・地方連合会・地域協議会の財政の会計期間・勘定科目の整合化と一体的公表などを行う。また、地方連合会への交付金のあり方について検討を進める。

### 2. 地方・地域の連合運動の活性化と構成組織との連携強化

- (1) 地域協議会の活動については、再構成した「全国で統一的に取り組む 2 つのコア活動（①連合組織内の連携を強化するための活動、②地域で働くすべての仲間を支えるための活動）」と「各地域の特色を活かした活動」において、全国台で足並みをそろえた取り組みとしていく。
- (2) 「地方ブロック連絡会の運営要綱」にもとづき、地方・地域における連合運動への積極的な参加を促すとともに、組織拡大での連携、ジェンダー平等の推進、若手リーダーの交流などを行っていく。
- (3) 関係 4 団体（労働金庫、こくみん共済 coop（全労済）、労福協、連合）での連携を継続し、「地域に根ざした顔の見える運動」の推進のため、ライフサポートセンターが担う機能について、課題の整理と今後のあり方を検討する。

### 3. 連合全体の組織力の強化とコミュニケーションの充実

- (1) DXの進展、コロナ禍などの環境変化も踏まえ、これからの労働組合の役割、活動スタイル、運動への参加促進のあり方などについて、関係者との協働で研究し、成果を適宜発信する。
- (2) 連合本部は、担当窓口による構成組織や地方連合会との日常的なコミュニケーションを充実する。構成組織や地方連合会との組織的な対話活動に際しては、WEB会議システムなども活用して開催機会や参加方法の多様化をはかる。
- (3) 「産業別・業種別部門連絡会」については、大括り化は当面見送ることとし、既存の枠組みや従来の取り組みを尊重しつつ、産業・業種に関する取り組みを充実・深化させる場とし、運営体制を見直す。
- (4) 企画委員会を中心に運動資源の有効活用や効果的な活動の遂行などを点検する。
- (5) 連合本部は、各局の調整機能の強化や一元管理、諸会議の開催方法などを工夫し、構成組織や地方連合会の業務削減につなげる。

## 【連合岩手の取り組み】

### ≪不正経理事案の解決すべき課題への対応≫企画総務局

- ① 経費削減に資する取り組みについて継続し、安定的な組織運営・組織運動が行えるよう対応します。
- ② 役員（歴代役員を含む）の損失補填について継続して対応します。
- ③ 同じ過ちを犯さないよう再発防止策を徹底し、適時検証と見直しを行いながら健全な財政運営に努めます。

### ≪地協運動の活性化、人財確保≫企画総務局

- ④ 次世代育成と、地協を含めた専従役員の確保が全国的な課題となっていることから、人財育成、担い手の確保について各構成組織、地協と情報共有に努めます。
- ⑤ 地協に対する「組織強化・拡大交付金」が有効的に活用されるよう、執行委員会での報告、助言を行います。
- ⑥ 連合本部は地協の活動領域、配置基準の見直し等を行うとしており、連合運動で重要な役割を担う地協活動にどのような影響があるか注視するとともに、意見反映に努めます。
- ⑦ 連合岩手が雇用する職員等について、やりがい働きがいを高める施策を検討するとともに、働き方の多様性を踏まえ新たな人事・賃金制度について検討します。

### ≪運動を支える財政確保、健全な財政の運用≫企画総務局

- ⑧ 連合本部の新会費制度への移行についての方針がまもなく示されることから、連合岩手の財政にどのような影響があるか連合本部の動向を注視するとともに、意見反映に努めます。
- ⑨ 予算の執行にあたっては、適正かつ効率的運用ならびに透明性をもった対応に努めます。
- ⑩ 「第 13 次組織・財政検討委員会」を設置し、組織課題、財政課題の検討を行います。

### ≪各種会議、各部門、各局の見直し≫企画総務局

- ⑪ 感染症対策の観点から、会議等の開催手法について十分に検討し有効性を見極めながら web 会議について活用していきます。
- ⑫ 連合本部は、産業別部門別連絡会の再編、内局の組織の見直しに着手していることから、連合岩手においても必要な対応、検討を行います。

以 上